

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学
平成23事業年度の業務実績に関する評価結果

(全体評価)

(大項目評価)

平成24年8月

大分県地方独立行政法人評価委員会

1 全体評価

評価結果と判断理由

評価結果

全体として年度計画及び中期計画を順調に実施している。

判断理由

○大項目のうち「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目の評価については、S評価（特筆すべき進行状況にある）が妥当であると判断した。また、「Ⅱ業務運営の改善及び効率化に関する目標」、「Ⅲ財務内容の改善に関する目標」、「Ⅳ教育、研究、社会貢献及び組織運営の状況に関する自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標」、「Ⅴその他業務運営に関する目標」の項目の評価についてはA評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

○「Ⅰ大学の教育研究等の質の向上に関する目標」の項目については、地域と連携し、地域に開かれた大学づくりを目指す方針の下、創立50周年記念事業として実施したオペラ・ガラ・コンサートや中国江漢大学と美術作品合同展の開催等を通じ、学生の地域における活動の機会の増大や、海外との学術・学生交流機会の創出に取り組んだことからS評価（特筆すべき進行状況にある）とした。

○以上の大項目評価を考慮して全体評価の結果としては、「全体として年度計画及び中期計画を順調に実施している」とした。

<委員会からのコメント>

- ・平成23年度は創立50周年ということもあり、学外に向けて情報発信し、地域と一緒に活動している。社会貢献に関して大学がかなり努力をしていると見受けられる。
- ・少子化の中で、更に大学の存在意義、存在価値を示すためにも地域貢献は必要なことであり、これからも更に努力してもらいたい。

【参考：大項目評価の結果】

Ⅰ 教育研究等の質の向上	S 特筆すべき進行状況	A 計画どおり	B おおむね計画どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事項あり
Ⅱ 業務運営の改善及び効率化	S 特筆すべき進行状況	A 計画どおり	B おおむね計画どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事項あり
Ⅲ 財務内容の改善	S 特筆すべき進行状況	A 計画どおり	B おおむね計画どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事項あり
Ⅳ 自己点検・評価並びに情報提供	S 特筆すべき進行状況	A 計画どおり	B おおむね計画どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事項あり
Ⅴ その他業務運営	S 特筆すべき進行状況	A 計画どおり	B おおむね計画どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事項あり

2 大項目評価

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

- 小項目評価の集計結果では、59項目のすべてがⅢ（順調に実施している）又はⅣ（上回って実施している）の評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。
- 下記の「大項目評価に当たり勘案した事項」に示すように、地域と連携し、地域に開かれた大学づくりを目指す方針の下、地域に出向き、地域の芸術性の向上に寄与したことや、教員や学生が地域社会と関わることが大学の教育・研究の質の向上に結びついていることなどを委員会として高く評価した。
- 小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められない。
- 以上のことから大項目評価としては、S評価（特筆すべき進行状況にある）が妥当であると判断した。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

※特筆すべき項目

小項目評価がⅣ（上回って実施している）の項目は、次のとおりであった。

なお、【2】は公立大学法人が小項目の重要性等を考慮して行ったウエイト付けである。

(I-1-(1)イ(ア))【2】

(I-1-(1)イ(イ))【2】

(I-1-(1)イ(ウ))【2】

○教育内容の充実

- ・美術科において、授業内容を布染色からシルクスクリーンやデジタルプリントに変更するとともに、学生の展示機会の増加や公募展への出展促進に取り組んだ。
- ・音楽科において、地域における演奏活動への参加支援や卒業生との共演等交流機会の増加に取り組んだ。
- ・国際文化学科において、科目群のコンセプトを明確化したカリキュラムを実施した。
- ・情報コミュニケーション学科において入学前からの担任制度を構築するとともにポートフォリオを活用した指導の実施や地域のイベントへの企画参加に取り組んだ。

(I-1-(2)ア(オ))【2】

○特別講座の実施

- ・美術科において、イラストレーターたぶき正博^{へい}氏を招聘して特別講座を開催した。
- ・音楽科において、客員教授による公開レッスンを実施した。
- ・国際文化学科において、青年会議所や美術館で地域交流を行うとともにワークショップを企画実施した。

(I-3-(1)イ(オ)a)【2】

○国際交流の推進

- ・新たな語学実習先としてイギリスのエセックス大学と協定を締結し学生を派遣するとともに、中国の江漢大学と美術作品合同展の開催や江漢大学での講演、指導等の交流を実施した。

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	I 実施して いない	II 十分に実 施できて いない	III 順調に実 施してい る	IV 上回って 実施して いる
教育	34 (4)			30	4 (4)
研究	6			6	
社会貢献	19 (6)			18 (5)	1 (1)
合 計	59 (10)			54 (5)	5 (5)
ウエイト考慮 後の合計	69			59	10

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、59項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

・大学が地域と一体となり活動することにより得られる成果は大学にもフィードバックされ、教育研究の質の向上に大いに役に立っている。

Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

○小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ（順調に実施している）の評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。
 ○小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められない。
 ○以上のことから大項目評価としては、A評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
運営体制	3(2)			3(2)	
人事の適正化	1			1	
合 計	4(2)			4(2)	
ウエイト考慮 後の合計	6			6	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、4項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

・受験生の減少という大変厳しい状況の中で業務改善や節約に取り組み黒字を出したことは評価できる。

Ⅲ 財務内容の改善に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

○小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢ（順調に実施している）の評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。
 ○小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められない。
 ○以上のことから大項目評価としては、A評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
事務効率化・ 経費抑制	2(1)			2(1)	
外部資金等の 獲得	1			1	
資産の適正管 理・有効活用					
合計	3(1)			3(1)	
ウエイト考慮 後の合計	4			4	

(注) 1 () は、ウエイト付けした項目数である。

2 大項目評価は、ウエイト考慮後のⅢ及びⅣの割合により決定する。

※小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。ウエイト付けした項目を考慮しても同様の結果である。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

IV 教育、研究、社会貢献及び組織運営の状況に関する自己点検・評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

○小項目評価の集計結果では、2項目のすべてがⅢ（順調に実施している）の評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。
 ○小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められない。
 ○以上のことから大項目評価としては、A評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
自己点検・ 自己評価	2			2	
情報公開					
合計	2			2	

(注) ウェイト付けした項目はない。

※小項目評価の集計結果では、2項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし

V その他業務運営に関する目標

(1) 評価結果

評価結果	S 特筆すべき 進行状況	A 計画どおり	B おおむね 計画どおり	C やや遅れて いる	D 重大な改善 事項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

(2) 判断理由

○小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢ（順調に実施している）の評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。
 ○小項目評価の中にⅡ（十分に実施できていない）又はⅠ（実施していない）の評価の項目は認められない。
 ○以上のことから大項目評価としては、A評価（計画どおり進んでいる）が妥当であると判断した。

【参考：大項目評価に当たり勘案した事項】

特筆すべき小項目はなし

【参考：小項目評価の集計結果】

分類	評価対象項目数	Ⅰ 実施して いない	Ⅱ 十分に実 施できて いない	Ⅲ 順調に実 施してい る	Ⅳ 上回って 実施して いる
施設・設備の 整備・活用	1			1	
安全管理	1			1	
人権啓発推進	1			1	
合 計	3			3	

(注) ウェイト付けした項目はない。

※小項目評価の集計結果では、3項目のすべてがⅢ又はⅣの評価であるため、A評価（計画どおり進んでいる）となる。

(3) 評価に当たっての意見、指摘等

特になし